

# 町村週報

(町村の購読料は会費  
の中に含まれております)

## 2576号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 谷合靖夫：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

森林セラピーロード「フナ

の森  
温身平ぬくみだいら（山形県小国町）



### ◎写真キャプション◎

全国6箇所が認定を受けた森林セラピー基地のひとつ、山形県小国町の「フナの森 温身平（ぬくみだいら）」。フナの樹皮が白いこと、雪が深いことから、小国町は「白い森の国」の愛称で呼ばれる。10ページの随想で、小野町長が「白い森構想」と森林セラピーへの思いを語る。

### もくじ

政 策	重点の少子化対策は31%増
フオーラム	住民が主役のまちづくりを目指して 徳島県上板町
フォーラム	日出町の行財政改革 明るい展望の持てる町に 大分県日出町
情 報	町村Navi
情 報	白い森の国「おぐに」を創る!! 山形県小国町長 小野 精一
情 報	政策リーダー

重点の少子化対策は31%増	11
2007年度厚生労働省予算概算要求重点施策(解説)	(2)
住民が主役のまちづくりを目指して 徳島県上板町	(4)
日出町の行財政改革 明るい展望の持てる町に 大分県日出町	(6)
町村Navi	(9)
白い森の国「おぐに」を創る!! 山形県小国町長 小野 精一	(10)
政策リーダー	(11)

### 話題 季節感はどこへ行った？

九州大学大学院法学研究院教授 木佐 茂男

「旬」の野菜や果物が店頭にあるから、「旬」の時期を言えなくなってしまう。すでに親の世代が、自然から離れた都市型通勤者になっていて、彼ら自身が自然に関する知識を持ち合わせなくなってきた。私の郷里を例にすれば、子どもの頃は、タマネギやジャガイモにも端境期があった。つまり、絶対にカレー・ライスを食べるのでない数か月があった。「端境期」など、死語になっているのかもしれない。

企業で「2007年問題」といわ

タクシーの運転手さんが、言っていた。「今年は、残暑がなかったですね。九州に住む者にとって、確かに、ずっと猛暑が続き、台風がたつた一つきたただけで、突然秋になった。言われてみれば、残暑がすつ飛んだようである。

この夏、郷里で驚いたことに、田舎の子どもの「自然離れ」がある。小学校高学年でも、ちよつとした虫をこわがり、よく知った作物の品名も言えない。試みに、誰でも知っているような農作物の収穫期を聞いたら、賢そ

うな子なのに、ほとんと言えない。年中、同じ種類の野菜や果物が店頭にあるから、「旬」の時期を言えなくなってしまう。すでに親の世代が、自然から離れた都市型通勤者になっていて、彼ら自身が自然に関する知識を持ち合わせなくなってきた。私の郷里を例にすれば、子どもの頃は、タマネギやジャガイモにも端境期があった。つまり、絶対にカレー・ライスを食べるのでない数か月があった。「端境期」など、死語になっているのかもしれない。

企業が「2007年問題」とい

れ、団塊の世代の大量退職により、技術の伝承が難しくなっているというが、実は、地域では、すでに「自然」や「季節感」の世代間継承に失敗してきたのではない。

都市と農村の交流の重要性が説かれる。私は、少しでも長期間、子供たちを四季折々に、「田舎暮らし」させることを願っている。子ども思いの親が付いてきてよい。親子ごと、自然で洗脳する。できれば、幼少の頃から、「疑似故郷」を持って、一つの地域で四季のサイクルを全身と全脳で体感して欲しい。

受験勉強よりも生きていく知恵の吸

取が優先すると思う。

私自身、季節感(判断力、均衡感覚)を喪失している。この9月、やつと午前中に時間を作って、早く診断を受けようと思っていたクリニックに行ったら、シャッターが閉まっていた。しばらく理由が分からなかったが、近所の家に出入っている日の丸を見て、秋分の日の休日と知った。そういえば、クリニックへの路上で、民家の玄関脇に白っぽい曼珠沙華が咲いていたから、気づいてよかったのに。